2021年８月１日

社員各位

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 桂 律也

2021年度定時社員総会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、本協会の2021年度定時社員総会を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。今年度も、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止の観点から、会長以下最小限の人数で実施することとし、代議員並びに正会員の皆様には、**原則として、定款第29条及び社員総会規則第6条の規定に基づく、書面による「議決権行使」又は「委任」での参加**とさせていただきたくお願い申し上げます。同封の「議決権行使書」に議決をご記入いただくか、「委任状」に必要事項をご記入いただき、ご署名又はご記名・ご捺印の上、８月18日（水）必着で同封の返信用封筒を用いて郵送又はＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申し上げます。「議決権行使書」と「委任状」を両方ご提出された場合は、「議決権行使書」を優先いたします。

総会資料をご確認いただき、ご質問のある方は、所属と氏名を明記の上、下記の質問フォームまたはＦＡＸにて送信をお願い申し上げます。今回は、委任状を提出される場合であっても提案事項にかかるご意見等をお受けいたします。忌憚のないお考え、ご質問をお願い申し上げます。８月18日到着分まで受付し、ご質問に対するお答えは総会及び協会誌にてお伝えいたします。その際は、質問者の所属と氏名を公開いたしますのでご了承ください。

今回は、会長以下最小限の人数で実施することもあり、Zoomウェビナーによるライブ配信を準備しています。定時社員総会の視聴を希望される方は、下記フォームにてお申込みください。後日、招待URLを送付させていただきます。

視聴申込み・質問の専用フォーム（協会ホームページの新着情報にURL掲載）

ＦＡＸ：０４５－３５３－８３６５

質問者の個人情報につきましては、総会及び一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の活動にのみ利用し、外部へ情報提供することはありません。

敬具

記

日 時： 2021年８月28日（土） 13:30～14:30

場 所： 谷岡学園 梅田サテライトオフィス CURIO-CITY
大阪市北区大深町４番20号 グランフロント大阪タワーA（南館）16階

議 案：
- 第１号議案 2020年度事業報告（案） 【資料１】
- 第２号議案 2020年度決算報告（案）／監査報告 【資料２】【資料３】
- 第３号議案 2021年度事業計画（案） 【資料４】
- 第４号議案 2021年度収支予算計画（案） 【資料５】
- 第５号議案 新役員の承認について 【資料６】

以上

【お問い合わせ先・議決権行使書または委任状 返送先】

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 事務局（〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田2-7-20）

2021 年度定時社員総会 資料集

第１号議案　2020 年度事業報告（案）	【資料１】	P 1～
第２号議案　2020 年度決算報告（案）／ 監査報告	【資料２】【資料３】	P13～
第３号議案　2021 年度事業計画（案）	【資料４】	P23～
第４号議案　2021 年度収支予算計画（案）	【資料５】	P36
第５号議案　新役員の承認について	【資料６】	P37

【お問い合わせ先・議決権行使書または委任状 返送先】
一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 事務局
〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田 2-7-20

【資料１】

第１号議案 2020 年度事業報告（案）

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2020 年度の経過

2020 年度の事業として、予定していた第 35 回リハ工学カンファレンス、福祉機器コンテスト 2020、災害対策リハ工学セミナーなどの企画、第 47 回国際福祉機器展（H.C.R.2020）およびバリアフリー2021（大阪市）などへの出展は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため、全て中止あるいは延期になってしまいました。第 35 回リハ工学カンファレンスについては、2021 年度のオンラインでの開催に向けて準備を進めていただきました。福祉機器コンテスト 2021 については、今回からコンテスト事務局を有限会社車座から神奈川リハビリテーション病院に移し、その移管手続きも含めて 2020 年 12 月から準備を進めたうえ、選考委員会を 2021 年 4 月に設置し、募集・選考をすすめました。協会誌は Vol.35 No.3 から Vol.36 No.2 まで 4 回発行しました。分科会・専門委員会関連事業として、SIG 関連では 2021 年度からの全 10 SIG の法人内 SIG への移行を達成するよう取り組みましたが、基本的に内部化についての理解は得られたものの、さらに調整が必要となったため、2022 年度からの法人内移行を目指し、スケジュール再調整、覚書などの必要文書の草案作りが行われました。地域支部もさらなる活性化を目指し、Web 会議システム（Zoom 他）を活用して、支部代表者会議を 3 回開催しました。災害対策委員会では、災害対策リハ工学セミナーの開催は行えなかったものの、協会事業化に向けた検討を行い 2021 年度からの事業委員会への移行に伴い、2020 年度で専門委員会の役目を終えました。また、一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）理事会に参加し、各種委員会に委員を派遣しました。JRAT は、組織の確立と地域 JRAT の設置に注力した一年でしたが、当協会も協力して発災時の「福祉機器の課題解決 WG（仮称）」の設置が決定しました。また、協会ホームページ（以下、HP）の充実も図ってきました。企画推進事業として、2019 年度から継続して全国頸髄損傷者連絡会と共同で頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査およびその結果のまとめを行い、9 月 19 日「頸損解体新書 2020 中間報告会」を開催し、最終報告会の準備を進めました。国際連携では、GAATO（Global Alliance of Assistive Technology Organization）加盟団体として、総会、理事会に参加し、GAATO が進める支援機器の効果に関する国際的な検討、世界保健機構（WHO）との協力・連携事業にも積極的に参加してきました。

今年度は、以上のように人が集まるイベントや会議の開催や参加ができず、協会活動の全体的な停滞を余儀なくされましたが、その分、協会および各事業の在り方や今後の展望について考察し、議論を交わす機会が増えました。対面式の会議が開催できないため、協会として Web 会議システムを導入し、理事会、支部・SIG 代表者会議、各委員会を開催しました。会議開催の調整が容易になり、意見交換が活発に行えるようになり会議の活性化につながったことに加え、会議費の削減にもつながりました。総務では、2021 年度代議員・役員候補者選挙に Web 選挙システムを導入し、年度をまたいで施行しました。初めての試みで、多少の混乱があり、次回以降への課題としています。

以上、2020 年度の事業の概要についてご報告させていただきました。最後になりましたが、役員改選のため、現体制の理事会は、2021 年度定時社員総会をもって活動を終了いたします。2020 年度の活動期間の大半が COVID-19 への対応に追われてしまいましたが、社員、会員の皆様のご協力でこの 1 年を乗り越えることができました。皆様への感謝をもって、事業概要の報告を終わらせていただきます。

会長 桂 律也

１．社員・会員

１−１．法人社員・会員

2020 年 7 月 1 日　正会員 626 名（うち社員（代議員）76 名)、学生会員 2 名
賛助会員数 15 社（47 口）
2021 年 6 月 30 日　正会員 590 名（うち社員（代議員）76 名)、学生会員 2 名
賛助会員数 15 社（47 口）

２．事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2020 年度の活動を報告する。

２－１．リハ工学カンファレンス関連（担当理事：剣持悟・鈴木太）

１）第 35 回リハ工学カンファレンス準備

第 35 回リハ工学カンファレンス in 北九州の開催準備を行った。

・会期：2021 年（令和 3 年）9 月 25 日（土）～26 日（日）
・会場：オンライン開催
・大会テーマ：リハ工学で支える 新しいライフスタイル
・大会長：繁成剛氏　（長野大学／一般社団法人日本リハビリテーション工学協会顧問）
・実行委員長：中村詩子氏（北九州市立総合療育センター）

２）第 36 回リハ工学カンファレンス準備

第 36 回リハ工学カンファレンスを広島で開催すべく準備を行った。

３）カンファレンスの在り方検討

・COVID-19 感染拡大防止対策を契機として、移動が困難な会員も参加できるように参加・発表方法を見直しオンライン参加がしやすいようなしくみを検討した
・参加者同士の質疑、議論、交流やディスカッションが今まで以上に安全で円滑、そして活発に行えるように検討を進めた
・地域支部や各 SIG、協会誌などとも連携して、様々なテーマを継続的に議論し、検討する場を提供できるよう検討を進めた

２－２．福祉機器コンテスト関連（担当理事：村田知之）

１）福祉機器コンテスト 2019

・4 月のバリアフリー2021（大阪）で福祉機器コンテストの広報として受賞作品の紹介ビラの配布を予定していたが、展示会が COVID-19 の影響により 2021 年 8 月に延期となった

２）福祉機器コンテスト 2020

・COVID-19 感染拡大防止のため中止となった
・中止に伴い福祉機器コンテスト 2020 事務局との委託契約を解除した(2020 年 6 月)
・中止に伴い福祉機器コンテスト 2021 事務局設置までの期間、コンテストに関連する機材や資料等の管理について福祉機器コンテスト 2020 事務局と寄託品保管の覚書を交わした（2020 年 12 月）

３）福祉機器コンテスト 2021

・福祉機器コンテスト 2021 事務局の設置(2020 年 12 月～)
・福祉機器コンテスト 2020 事務局との引継ぎ
・選考委員会の設置（2021 年 4 月～）

・後援：厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会
・特別協賛：フランスベッド株式会社
・協賛：株式会社有薗製作所、株式会社ケープ
・募集対象：機器開発部門、学生部門
・広報開始・応募要綱配布：2021 年 4 月 14 日
・受付期限：機器開発部門　2021 年 6 月 1 日、学生部門　2021 年 7 月 9 日
・広報：会員、関係企業、団体、過去の応募者等への郵送、協会誌への掲載、協会ホームページへの掲載（※展示会での広報は、展示会の中止により実施していない）

２－３．協会誌関連（担当理事：石濱裕規）

１）協会誌編集
・編集委員会はコロナ禍における効率性と安全性を重視する観点から全てオンラインにて実施し、Zoom と Chatwork を併用した
・年 4 回の編集委員会開催に加え、テーマを絞った臨時編集委員会を随時オンライン開催した
・執筆依頼、査読等、執筆・投稿者との連絡を全てメールのみで行い、郵送業務を掲載誌・謝礼送付時のみとした
・2021 年度新編集委員の公募と推薦を進め、4 名が承認された

２）協会誌発行
以下の協会誌を発刊した。
・Vol.35 No.3　2020/08 連載「新型コロナウイルスへの対応　第 1 回」
（コロナ禍で通常の特集執筆依頼が困難であったため、編集委員会内で記事を編纂した）
・Vol.35 No.4　2020/11 特集「新しいリハビリテーション領域と機器」
・Vol.36 No.1　2021/02 特集「障害と働き方」
・Vol.36 No.2　2021/05 特集「技を伝える～障害者の生活を支えるための暗黙知とその伝承～」
・「連載」として、新たに「新型コロナウイルスへの対応」「災害対策とリハ工学」を開始した
・「報告」は、学会・イベント等の参加報告依頼が困難となっており、上記連載の充実をはかるとともに、書評・芸術評を新たに試行している

３）投稿論文（査読依頼）
・投稿規定／執筆規定（依頼原稿）を理事会承認の上制定、Vol.35 No.3／HP 上にて更新公開し、投稿規定改定をもち、投稿規定検討委員会の活動を終了した
・投稿規定改定に伴い査読依頼書式の改定を進めた
・査読委員会設立承認に伴い、査読内規規定案・査読委員選定手順について検討し、査読委員候補者の推挙を進めた
・journal@resja.or.jp 名義でのメール送信配信権限を取得し、2020 年 10 月より記事依頼等をメールで行い、編集委員会事務局業務の効率化と郵送業務・費用の削減を図った
・2020 年度投稿 7 件、掲載不可 4 件、再投稿掲載不可 1 件、査読中 1 件、受理 1 件であった

４）協会誌の段階的電子化
・レフェリーサインの電子署名化を含め投稿―査読―結果通知の電子化を進めた
・特集・連載等は認証制、論文等投稿記事はオープンアクセス化し、共に最新号より登載した。また、

公益性という観点から情報公開を優先すべき連載についてはオープンアクセス公開とした
・投稿規定改定に伴い、電子版協会誌をカラー画像掲載し、動画付記事も公開した
・報告記事は最新号より協会 HP 上にて公開を進めた

２－４．分科会（SIG）（担当理事：谷口公友）

１）SIG への活動支援
・現在ある 10 SIG の活動を支援するために、協会誌や HP への講習会等の情報掲載の呼びかけを行った
・2019 年度の SIG 代表者会議を受けて、全 SIG が法人内 SIG となるように各種条件の整理を行い、法人外 SIG の法人内 SIG への移行を順次進めていく予定であったが、COVID-19 等の影響から、2020 年 7 月からの法人 SIG 化は実現できなかった。各 SIG とオンライン会議を定期的に開催し、内部化への懸念事項に関して確認作業を行った。懸念事項に対する協会の考えを示すなど情報共有を行った

２）SIG の位置づけ検討委員会
・2022 年度からの法人 SIG 化に向け、移行までのスケジュール、各種書類（趣意書、覚書、SIG 規定など）のひな型を作成した

2020 年度 SIG 活動報告　期間：2020 年 7 月～2021 年 6 月　※SIG 会員数（協会員数）は 2021 年 6 月 1 日現在

SIG 姿勢保持	https://www.resja.or.jp/posi-sig/	会員数：133 名（34 名）
代表者：繁成剛(長野大学)	事務局長：児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター)	
・WEB サイト運営、会員専用 ML への情報発信、リハ工学協会事業への協力		
・講習会：COVID-19 感染拡大防止対策として次年度に延期決定　会場：山西福祉記念会館（予定）		
・役員会の開催：2021 年 3 月 28 日　オンライン会議（ホスト：長野大学）		
・書籍（小児から高齢者までの姿勢保持・第２版）や資料集 PDF 版の販売		
車いす SIG	https://www.resja.or.jp/wc-sig/	会員数：95 名（42 名）
代表者：沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)		事務局長：深野栄子
・オンライン会議による役員会開催（5 回）		
・オンライン講習会開催の検討		
・WEB サイト運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力　他		
自助具 SIG		会員数：9 名（9 名）
代表者：岡田英志（ヒューマン）	事務局長：岡田英志（ヒューマン）	
・テクノエイド協会「３Ｄプリンターを活用して製作する自助具情報の在り方に関する研究」へ参加		
・Facebook を利用した情報発信		
乗り物 SIG	https://ameblo.jp/sunrisejp007/	会員数：5 名（5 名）
代表者：麩澤孝（有限会社 セカンドステージ）	事務局長：片石任（株式会社フロンティア）	
・メール等利用の WEB サイト内容検討		
SIG 褥そう防止装置	https://www.resja.or.jp/sig-pmps/	会員数：20 名（20 名）
代表者：新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)		
事務局長：河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター)		
・HP の更新、褥瘡学会との連携（委員派遣・セミナーの後援）		
・COVID-19 対応指針作成・遠隔支援・役員会合（2021 年 2 月 18 日）		
コミュニケーション SIG	https://www.resja.or.jp/com-sig/	会員数：67 名（20 名）
代表者：渡辺崇史（日本福祉大学）	事務局長：上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター)	
・コミュニケーション SIG メンバーメーリングリストの再構築		
・HP 修正		
SIG 住まいづくり	https://www.resja.or.jp/sumai-sig/	会員数：107 名（60 名）
代表者：橋本美芽（首都大学東京）	事務局長：鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター)	
・HP リニューアル検討		
特別支援教育 SIG		会員数：5 名（5 名）
代表者：松田靖史（川村義肢株式会社）	事務局長：高原光恵(鳴門教育大学)	
・特別支援関連事例の収集（教材、資料）		

移乗機器SIG　http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html　会員数：123名（18名） 代表者：古田恒輔（神戸学院大学）　事務局長：青木久美子（宇部記念病院訪問リハビリテーション） ・オンラインセミナーの実施：2021年4月24日　参加者10名 ・役員会の開催：オンライン会議　11回 ・会員アンケート調査の実施：コロナ禍における移乗用具に関する講習会の必要性や実施希望について
義肢装具SIG　https://www.resja.or.jp/po-sig/　会員数：105名（28名） 代表者：笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科）　事務局長：砂野義信 ・講習会開催：未開催 ・HP運営

２－５．分科会（支部）・専門委員会（災害対策）関連（担当理事：植田瑞昌）

１）支部への活動支援

全国6支部が整備され、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学にかかわる人的ネットワークを構築することができるようになった。

- 協会誌やHPで全支部への周知を行った。課題として、支部ごとに差があるため、各支部間で情報を共有しさらなる活動への支援を積極的に行った
- 支部活動費が円滑に使用できるように先払いとし活動後精算の手続きが取れるようにした
- さらに、これまではカンファレンス時年1回の支部代表者会議であったが、2020年度は支部代表者会議をオンライン形式で3回行い、情報共有を積極的に行った
- 各支部の活動報告は別紙を参照

２）災害対策員会

- 災害対策委員会をオンライン形式で開催し、常設化に向け、課題抽出や今後の計画等の検討を行った。さらに、設置目的や委員会の立ち上げのための委員の選出方法の検討を行った
- JRATの各種委員会（戦略会議、広報委員会、研修企画委員会）へ委員の派遣を行い、JRAT加盟各団体との協力関係の構築およびJRAT内における当協会の役割の精査を行った。また委員会内でメーリングリストにて情報共有を行った
- 一般社団法人日本福祉用具生活支援用具協会（JASPA）の災害復興車椅子メンテナンス事業はCOVID-19感染拡大防止のため中止になった
- 公益財団法人テクノエイド協会発行「福祉用具シリーズ」へ執筆協力を行った
- 協会誌等へ情報発信等を行った
- 第４回災害対策リハ工学セミナーの企画運営を行ったが中止となった。本事業は第41回八王子いちょう祭りの一部として、イーアス高尾（八王子市）にて11月に開催予定であり災害に対応したグッズ等の展示予定であったが、中止となったため出展しなかった
- 事業化に向け、定款施行細則の改正作業を行った
- JRAT理事会に参加「福祉機器の課題解決WG（仮称）」の設置が決まった
- 委員会の常設化に伴い、専門委員会の活動を終了し、報告書の作成を行った

２－６．企画推進事業（企画担当理事：西村顕／事業統括担当理事：中村俊哉）

協会の広報活動及び会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行った

１）学会展示会、広報活動強化

- 10月に出展を予定していた「第47回国際福祉機器展H.C.R.2020」が中止となった
- 「第47回国際福祉機器展H.C.R.2020」の中止に伴い開催された代替オンラインイベント「福祉機器Web2020」（公開期間：2020年10月21日～2021年3月31日）への出展を行った

・11 月に開催が予定され中止となった「第 22 回西日本国際福祉機器展(PPC2020)」の代替オンラインイベント「スマホとネットで西日本国際福祉機器展」（公開期間：2020 年 12 月 01 日～2021 年 2 月 12 日）への出展を行った

・4 月に出展を予定していた「バリアフリー2021」はコロナ禍の影響を受け、2021 年 8 月に延期となった

・例年出展を行っている、高知福祉機器展、新潟福祉機器展もコロナ禍の影響により開催が中止となった

2）セミナー開催

・ H.C.R.2020 及び例年出展を行っている展示会の中止・延期に伴い、展示会に付帯するセミナーの開催が実施出来なかった

3）頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査 2020 の実施

・前年度に引き続き、全国頸髄損傷者連絡会と共同により、頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査を実施し、その結果をまとめる作業を実施した。なお、コロナ禍の影響により、予定されたスケジュールに対し、約半年の期間延長となった

・9 月 19 日（土）に「頸損解体新書 2020 中間報告会」を実行委員会主催により実施した

・本調査の結果として、2021 年 6 月に「頸損解体新書 2020」を発行。協会員には 2021 年 8 月に頒布を予定している

・当初 2020 年度内に予定していた、「頸損解体新書 2020 最終報告会（仮）」については、スケジュール延長に伴い、2021 年 10 月に開催する予定となった

4）合同シンポジウムの開催

・開催を検討していたが、コロナ禍の影響により中止となった

5）災害対策に関する講習会の開催

・開催を検討していたが、コロナ禍の影響により中止となった

6）新たな会員獲得及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進

・引き続き、現在の事業の見直しと共に、新たな企画推進事業、コロナ禍での事業のあり方等の検討を行った

・コロナ禍の影響により、セミナー等の試行的な実施には至らなかった

7）情報保障の拡充

・リハ工学カンファレンス in 北九州の一年延期や各セミナーの中止等により、イベントに対する情報保障は、実施に至らなかった

２－７．国際関連の事業（担当理事：森田千晶）

1）国際関連団体との相互協定に基づく交流

・GAATO（Global Alliance of Assistive Technology Organization）への参画とともに RESJA からは井上剛伸氏（国立障害者リハビリテーションセンター）、桂会長が理事に就任した。GAATO と RESJA との連携を図るためにオンラインでの打ち合わせ、また GAATO 総会に参加した

・GAATO が計画をしている支援機器の利用効果に関するワークショップについて豪州リハビリテーション工学協会（ARATA）と RESJA が中心となり西太平洋地域の関係団体に参加の提案をした

・i-CREATe2021 開催に関する情報を HP に掲載し、協会会員に情報提供をした

2）国際連携推進委員会の開催

・委員会は開催しなかったが、必要事項はメールにて意見交換を行った

３．総務

３－１．規則・選挙（担当理事：水澤二郎）

１）2021 年度（令和 3 年度）代議員・役員候補者選挙

・2020 年度定時社員総会における第５号議案「代議員選出規則の改定（案）」の決議を受けて、代議員選出規則の改定を行った

・Web 選挙システムを導入、施行した

・選挙管理委員会の任期満了に伴い、新たな選挙管理委員会を発足し、当該委員会業務に関しての確認及び取りまとめを行った

・代議員並びに役員の任期満了に伴い、Web 選挙システムによる代議員選挙、役員候補者選挙を行った

２）規程の整備

・各種規則等の規定状況についてその内容を精査し、運用上の問題点や改定の必要性の有無を確認した

３－２．財務（担当理事：岡野善記）

１）法人会計の管理

・2020 年度決算の実施

・2021 年度予算案の提案

・四半期決算の実施

２）分科会・支部の連結決算の準備

・現状把握

・会計システムの構築

３－３．総会･理事会等会議開催（担当理事：江原喜人）

１）2020 年度定時社員総会を開催

・2020 年 8 月 30 日（日）、13:30～14:30、谷岡学園 梅田サテライトオフィス CURIO-CITY（大阪市）において定時社員総会を開催した

２）2020 年度第 1 回（通算第 64 回）～第 5 回（通算第 68 回）理事会の開催

・2020 年 7 月 19 日、10 月 11 日、12 月 13 日、2021 年 3 月 7 日、6 月 13 日にオンライン会議による理事会を開催した

３）2021 年度定時社員総会の開催準備

・各理事に「2020 年度事業報告」および「2021 年度事業計画書・予算要求書」の提出を依頼し、「2020 年度事業報告（案）」および「2021 年度事業計画（案）」の作成を行った

３－４．広報・渉外（担当理事：杉本昌子・鈴木太）

１）協会リーフレット

・更新、印刷なし

２）協会ホームページ

・適宜更新を実施

・各支部活動、各 SIG 活動のためのサーバー追加については、今期実施せず

・支部代表者会議に出席し、メーリングリスト（以下、ML）の利用・HP 掲載について説明を行った

3）Web 会議システムの利用

・COVID-19 感染拡大防止のため、理事会をすべて Zoom を利用して実施した

・各委員会におけるミーティングの機会を作った

・Zoom 情報共有のため、Google カレンダーを利用した

4）Web 管理委員会

・広報・渉外専用のグループメールを設定した

・XserverDrive の導入準備

・ファイル共有ソフトの検討

・会員 ML 配信 26 件、FreeML 配信：35 件

5）COVID-19 感染拡大防止対策

・車椅子ユーザー向け感染予防情報の提供を行った

・協会 HP 掲載、協会 Facebook 投稿など、広く情報提供を行った

4．事務局（事務局統括理事：水澤二郎）

1）事務局運営

・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた

2）各事業における活動

・COVID-19 感染拡大防止の観点から展示会が中止または Web 展示会となったため、ブース出展がなく広報活動は行えなかった

3）協力依頼への対応

・第 58 回日本リハビリテーション医学会(令和 3 年 6 月 10～13 日：京都)の合同企画（オンデマンド配信講演)依頼に対し、桂会長を派遣した。障害当事者協会員の協力 を得て『重度障害者の「参加」に対する総合的支援』というタイトルで講演を実施し、6 月 14 日～7 月 30 日にオンデマンド配信された

５．後援・協賛事業

2020 年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	一般社団法人日本機械学会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2020年9月2日～4日 →延期(1年程度)	ＬＩＦＥ２０２０
2	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2020年9月2日～4日 →中止	ヒューマンインタフェースシンポジウム2020
3	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2020年9月25日～27日 →2020年9月25日～10月25日 (Web開催)	第54回日本作業療法学会
4	後援	特定非営利活動法人　医療ネットワーク支援センター	2020年11月～2021年3月	第8回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	バイオメカニズム学会	2020年12月5日～6日	第41回バイオメカニズム学術講演会
6	協賛	感覚代行研究会	2020年12月7日～11日 (Web開催)	第46回（2020年）感覚代行シンポジウム
7	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2020年12月16日～18日 (オンライン開催)	第21回SICEシステムインテグレーション部門講演会
8	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2021年2月11日 (Zoom開催)	第24回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
9	後援	公益社団法人日本理学療法士協会会	2021年5月29日～30日 (オンライン開催)	第55回日本理学療法学術研修大会2020inおおいた
10	後援	第2回福祉用具専門相談員研究大会	2021年6月21日 (オンライン併用開催)	第2回福祉用具専門相談員研究大会

【別紙】

◆支部の 2020 年度活動報告◆

◇東日本支部

１．事業概要

東日本支部は、組織作りができないまま経過しており、現状では支部役員も決まっていない状態である。

◇関東・甲信越支部

１．事業概要

関東・甲信越支部では、年間 1 回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図ることを計画していたが、COVID-19 感染拡大防止のため活動を自粛した。

２．主要事業

災害対策キャンプの企画・運営を 2020 年秋または 2021 年春に予定していたが、COVID-19 感染拡大防止のために延期とした。

３．その他

⑴支部役員会 1 の開催

日時：2021 年 1 月 26 日（火）20:00～21:00

場所：Web 会議システム

内容：2020 年度の報告と 2021 年度の活動について

⑵支部役員会 2 の開催

日時：2021 年 6 月 15 日（火）20:00～21:00

場所：Web 会議システム

内容：2020 年度の報告と 2021 年度の活動計画について

キャンプ企画、 連続セミナー、「やってみよう」、事務運営方法について

⑶「やってみよう」Web 会議システムを活用して、リハ工学に関してフリーディスカッションを 3 回開催した。

◇中部支部

１．事業概要

中部支部では、福祉用具メーカーの見学や支部会員によるミーティング等の実施を計画していたが、COVID-19 感染拡大防止のために活動を自粛した。

２．主要事業

今年度においては、COVID-19 感染拡大防止のため、特に開催しなかった。

３．その他

⑴ 支部世話人メンバーの見直し

内容:中部支部の地域性を考慮して、東海地区と北陸地区にそれぞれ世話人をおいた。その上で、今後の活動について情報交換を図った

⑵ 支部役員会(世話人会)の開催

日時：2021 年　5 月 22 日（土）　10:00～11:30

場所：web 会議システム
内容：2021 度の事業計画案と運営方法の意見交換

◇関西支部

１．事業概要

関西支部では、2020 年度支部セミナーを行うべく、オンラインによる役員会にて企画を立てた。しかし、その後の COVID-19 感染拡大防止による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などのため実施を断念した。昨年度に引き続きバリアフリー2021 も延期となった（2021 年 8 月 25～27 日にハイブリッドでの実施予定）。

２．主要事業

⑴ 支部セミナーの開催

福祉サービスや福祉機器の利用状況に関する地域差をテーマとしたオンラインセミナーを 3～5 月あたりでの実施を目指し企画したが、COVID-19 の影響により、打合せ等もままならならず、中止となった。

⑵ バリアフリー2021 ブース運営および出展社セミナーの開催

COVID-19 の影響により展示会が延期となった

当初開催予定日：2021 年 4 月 22 日（木）～24 日（土）

場　所：インテックス大阪

３．他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

４．その他

⑴ 支部役員会の開催

日時：2020 年 10 月 15 日（木）18:30～20:00

場所：Web 会議システム

内容：協会誌（11 月発行）への掲載事項の検討、支部の役員体制について、2020 年度の支部企画事業について

◇中国・四国支部

１．事業概要

中国・四国支部では、2020 年度支部オンラインセミナーを 6 月 26 日（土）に開催を予定した。

２．主要事業

⑴ 支部セミナーの開催

●中国・四国支部セミナー

開催日：2021 年 6 月 26 日（土）　13:30～16:00

場所：Web 会議システム

参加者：30 名

テーマ：「当事者こそが変える！人手不足の介護現場」

進行：司会　中国・四国支部　谷口公友

「ノーリフティングの必要性」　中国・四国支部　下元佳子

当事者スピーカー　中国・四国支部　鈴木太

ゲストスピーカー　濱田知加氏（当事者家族）

西川まり子氏（訪問看護ステーションおたすけまん）

３．他学会等の事業への後援・協賛・協力

特に無し

４．その他

⑴ 支部役員会の開催

日時：2021年5月11日（火）　19:00～20:30

場所：Web会議システム

内容：6月のオンラインセミナーの流れの確認

・2020年度の事業報告・決算報告、2021年度の事業計画案・収支予算案について

・2021年度の活動に向けて、中国・四国支部の活動用のシャツを作ることとした

上記以外は、中国・四国支部LINEグループを作りチャットでやり取りしていた。

◇九州支部

１．事業概要

第35回リハ工学カンファレンスin北九州への協力を行い、リハビリテーション工学に関わる研究や情報の普及・啓発を図った。

２．主要事業

●九州支部オフラインミーティング

第22回西日本国際福祉機器展で展示ブースを巡りながら出展社および来場者（リハ工学協会会員も含む）とディスカッションする計画だったが、COVID-19の影響により、開催がオンラインとなったため、実施できなかった。

３．協会事業への協力

リハ工学カンファレンスin北九州プレカンファレンスに実行委員として協力した。

主催：第35回リハ工学カンファレンスin北九州実行委員会

開催日：2021年2月23日（祝）13:30～15:30

場所：Web会議システム（ホスト・コントロールは西日本工業大学内で実施）

テーマ：リハ工学で支える新しいライフスタイルwith電動車いす

４．その他

⑴ 支部役員会の開催

メーリングリスト「koy-branch-ml@resja.or.jp」にて適宜開催した。

【資料２】

第２号議案 2020 年度決算報告（案）／監査報告

「決算報告書」（貸借対照表、損益計算書、販売費・一般管理費内訳書）及び補助資料として「比較決算報告書」（貸借対照表、損益計算書、販売費・一般管理費内訳書）をご覧下さい。

決　算　報　告　書

自　令和　２年　７月　１日

至　令和　３年　６月３０日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会

貸借対照表

（単位：円）

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　令和 3年 6月30日現在

資産の部				
科目	当期	前期	増減	前期比(%)
【流動資産】	11,902,823	8,115,237	3,787,586	146.7
現金及び預金	8,345,079	6,814,450	1,530,629	122.5
前払金	274,870	0	274,870	-
未収入金	20,000	35,000	△15,000	57.1
前払費用	9,780	12,700	△2,920	77.0
その他流動資産	3,253,094	1,253,087	2,000,007	259.6
【固定資産】	10	10	0	100.0
(有形固定資産)	10	10	0	100.0
器具備品	10	10	0	100.0
資産の部計	11,902,833	8,115,247	3,787,586	146.7

損　益　計　算　書

（単位：円）

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会

至 令和 3年 6月30日

科　　目	金　　額	
【入　会　金　収　入】		16,000
【会　費　収　入】		
一　般　会　費　収　入	5,978,750	
学　生　会　費　収　入	14,000	
賛　助　会　費　収　入	470,000	6,462,750
【事　業　収　入】		
書　籍　頒　布	101,500	
購読サービス会費	173,750	
協　会　誌　収　入	69,000	344,250
【雑　　収　　入】		863
収　益　合　計		6,823,863
【事　　業　　費】		3,156,301
【管　　理　　費】		1,740,187
費　用　合　計		4,896,488
当期正味財産増加額		1,927,375

事業費・管理費内訳書

（単位：円）

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　至 令和 3年 6月30日

科　　目	金　　額	
【事　業　費】		
協会誌編集・発行費	3,092,193	
活　動　費	47,070	
広報媒体経費	17,038	3,156,301
【管　理　費】		
公認会計士顧問料	264,000	
会費・参加費	158,860	
交　通　費	123,140	
通信運搬費	96,582	
事務用品費	20,795	
印　刷　費	46,403	
事務局備品リース料	26,136	
管理委託費	71,971	
事務委託費	720,000	
支払手数料	22,269	
収納代行手数料	179,481	
その他手数料	10,550	1,740,187
事業費及び管理費		4,896,488

比　較　決　算　報　告　書

自　令和　2年　7月　1日

至　令和　3年　6月３０日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会

貸借対照表

（単位：円）

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　令和 3年 6月30日現在

資産の部				
科目	当期	前期	増減	前期比(%)
【流動資産】	11,902,823	8,115,237	3,787,586	146.7
現金及び預金	8,345,079	6,814,450	1,530,629	122.5
前払金	274,870	0	274,870	-
未収入金	20,000	35,000	△15,000	57.1
前払費用	9,780	12,700	△2,920	77.0
その他流動資産	3,253,094	1,253,087	2,000,007	259.6
【固定資産】	10	10	0	100.0
(有形固定資産)	10	10	0	100.0
器具備品	10	10	0	100.0
資産の部計	11,902,833	8,115,247	3,787,586	146.7

貸借対照表

（単位：円）

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　令和 3年 6月30日現在

負債の部				
科目	当期	前期	増減	前期比(%)
【流動負債】	4,065,626	2,205,415	1,860,211	184.3
前受会費等	1,969,250	1,766,000	203,250	111.5
前受金その他	270,000	293,750	△23,750	91.9
未払金	0	24,549	△24,549	-
仮受金	57,000	53,000	4,000	107.5
預り金	1,766,416	66,416	1,700,000	2659.6
書類頒布経費(送料等)	2,960	1,700	1,260	174.1
負債の部計	4,065,626	2,205,415	1,860,211	184.3

正味財産の部				
【正味財産】	7,837,207	5,909,832	1,927,375	132.6
正味財産	5,909,832	5,467,251	442,581	108.1
当期正味財産増加額	1,927,375	442,581	1,484,794	435.5
正味財産の部計	7,837,207	5,909,832	1,927,375	132.6
負債・正味財産の部	11,902,833	8,115,247	3,787,586	146.7

損　益　計　算　書

（単位：円）

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　至 令和 3年 6月30日

科　　目	当　　期	前　　期	増　　減	前期比(%)
【入会金収入】	16,000	12,000	4,000	133.3
【会費収入】	6,462,750	6,541,000	△78,250	98.8
一般会費収入	5,978,750	5,941,000	37,750	100.6
学生会費収入	14,000	40,000	△26,000	35.0
賛助会費収入	470,000	560,000	△90,000	83.9
【事業収入】	344,250	852,250	△508,000	40.4
書籍頒布	101,500	62,000	39,500	163.7
購読サービス会費	173,750	240,000	△66,250	72.4
協会誌収入	69,000	143,000	△74,000	48.3
その他事業収入	0	407,250	△407,250	-
【雑収入】	863	80,590	△79,727	1.1
収益合計	6,823,863	7,485,840	△661,977	91.2
【事業費】	3,156,301	4,166,656	△1,010,355	75.8
【管理費】	1,740,187	2,876,603	△1,136,416	60.5
費用合計	4,896,488	7,043,259	△2,146,771	69.5
当期正味財産増加額	1,927,375	442,581	1,484,794	435.5

販売費・一般管理費内訳書

（単位：円）

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　至 令和 3年 6月30日

科目	当期	前期	増減	前期比(%)
【事業費】	【 3,156,301】	【 4,166,656】	【 △1,010,355】	75.8
協会誌編集・発行費	3,092,193	3,039,197	52,996	101.7
事業開催費	0	353,719	△353,719	-
活動費	47,070	0	47,070	-
会場費	0	124,740	△124,740	-
広報媒体経費	17,038	649,000	△631,962	2.6
【管理費】	【 1,740,187】	【 2,876,603】	【 △1,136,416】	60.5
講師謝金	0	11,136	△11,136	-
公認会計士顧問料	264,000	262,400	1,600	100.6
会議費	0	52,746	△52,746	-
会費・参加費	158,860	42,000	116,860	378.2
交通費	123,140	1,170,001	△1,046,861	10.5
通信運搬費	96,582	114,094	△17,512	84.7
事務用品費	20,795	24,238	△3,443	85.8
印刷費	46,403	73,558	△27,155	63.1
事務局備品リース料	26,136	26,136	0	100.0
管理委託費	71,971	93,359	△21,388	77.1
事務委託費	720,000	720,000	0	100.0
支払手数料	22,269	6,051	16,218	368.0
収納代行手数料	179,481	147,505	31,976	121.7
その他手数料	10,550	924	9,626	1141.8
宿泊費	0	132,455	△132,455	-
事業費及び管理費	4,896,488	7,043,259	△2,146,771	69.5

【資料３】

2020 年度監査報告

2021 年(令和 3 年)7 月 31 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長　桂　　律 也　様

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
2020 年度(令和 2 年度)監査報告書

私たち監事は、当協会定款第 60 条の規定に基づき 2020 事業年度(2020 年 7 月 1 日より 2021 年 6 月 30 日まで)の監査を実施したので、その方法および結果について以下の通り報告します。

１．　監査の方法および内容

各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、オンライン形式となった理事会に出席して事業報告を受けたほか、会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査しました。

２．　監査結果

1)　業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行されたことを確認しました。新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き大きく、主要事業を含め年度内に実施できなかったイベントがありました。

2)　決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

３．　付帯意見

1)　主要事業であるリハ工学カンファレンスや福祉機器コンテストが延期を余儀なくされる中、次年度実施に向け準備段階からオンライン形式で打合せやプレイベントを実施するなど、関係各位の努力が継続されています。

2)　２年連続で単年度黒字となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費支出減とシステム改善等による管理費削減効果の両方の要素があります。次年度以降も油断せず計画的な事業実施をお願いします。

3)　SIG を法人組織にする取組みが年度内に完了しなかったことは残念でした。人口減社会やコロナ禍にあって地域支部や SIG の活動はさらに重要になってきています。活動基盤整備への理事会の精力的な取組みと幅広い会員の積極的な参画に期待します。

4)　事業継続性をさらに強固にするため、事務局体制の強化を含めた検討を引き続きご検討願います。

監事　　伊藤　和幸　印

監事　　赤澤　康史　印

【資料４】

第３号議案 2021 年度事業計画（案）

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2021 年度事業方針

2021 年度の事業について、COVID-19 感染症の影響は続いており、事業計画の変更や中止を余儀なくされる可能性もありますが、会員の皆様および障害のある当事者の安全確保に留意して事業を進めて行きたいと思います。まず、8 月 28 日（土）に大阪で社員総会を開催します。昨年延期させていただいた第 35 回リハ工学カンファレンスは、9 月 25 日（土）～26 日（日）の両日、オンラインで開催することになりました。カンファレンス会期中に福祉機器コンテスト 2021 の発表および表彰を行い、引き続き福祉機器コンテスト 2022 の準備を行います。また例年通り協会誌を 4 回発行します。分科会活動として、全 10 SIG のうち、協会外部の協力団体となっている 6 SIG について 2022 年度中の法人内移行を進めていきます。地域支部に関しては、全 6 支部について積極的な活動が行えるよう支援していく予定です。災害対策について、これまで被災地支援や災害対策リハ工学セミナーなどの活動に対して専門委員会を置いて対応してきましたが、障害のある当事者の防災・減災に対するリハ工学／支援技術ニーズの高まりや、協会として JRAT に加盟し、関連団体と協力して発災時の支援活動と平時災害対策を行なう必要があることなどから、継続的にこれらの活動を行なうため、災害対策を協会の事業とし、新たに事業委員会として災害対策委員会を立ち上げこれらの活動にあたることとします。他団体との連携として、全国頸髄損傷者連絡会などとの共同企画を今後も進めて行きたいと思います。国際連携推進委員会では 2020 年に発足した GAATO（Global Alliance of Assistive Technology Organizations：世界支援技術団体連合）の理事会メンバーとしてまた、アジアのリハ工学関連組織の連携団体である CREATe Asia（アジアリハ工学連携会議）のメンバーとして今後の国際連携活動を推進いたします。例年、当協会から出展していた国際福祉機器展（H.C.R.2021）は、H.C.R.の規模の縮小等もあって、今年は出展しないことになりました。他の福祉機器展などへの出展と合わせ、今後の広報や会員の皆様への情報提供など、地域支部ごとの活動活性化など会員サービスの向上に向け総合的に検討していく予定でおります。

2020 年度は、コロナ禍により、理事会や各種委員会など多くがオンラインで開催されましたが、2021 年度も継続して web 会議システムを活用して、経費の有効活用を図りたいと思います。ポスト・コロナの時代は情報通信の分野をはじめ多くの分野で社会変容が進むと予想されています。現在の災禍を、ポスト・コロナの時代、そして協会の 40 周年、50 周年に向けて協会活動全体の見直しを進めて行く機会ととらえ、協会の発展を目指します。

会長　桂　律也

１．事業

１－１．リハ工学カンファレンス関連（カンファレンス担当理事）

１）第 35 回リハ工学カンファレンス準備

第 35 回リハ工学カンファレンス in 北九州の開催準備を行う。

・会期：2021 年（令和 3 年）9 月 25 日（土）～26 日（日）
・会場：オンライン開催
・大会テーマ：リハ工学で支える新しいライフスタイル
・大会長：繁成剛氏　（長野大学／一般社団法人日本リハビリテーション工学協会顧問）
・実行委員長：中村詩子氏（北九州市立総合療育センター）

2）第36回リハ工学カンファレンス準備

第36回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

候補地としては広島、オンライン開催を基本とし て、今後検討予定。

3）第37回リハ工学カンファレンス準備

第37回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

4）UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）継続利用

１－２．福祉機器コンテスト関連（コンテスト担当理事）

1）福祉機器コンテスト2021

一次選考会　2021年7月13日（火）～20日（火）

学生部門：書類・ビデオ審査（機器開発部門は2021年6月13日に実施）

於：選考委員による電子的方法またはFAX 投票

二次選考会　2021年8月8日(日)

機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査

於：WEB会議システムまたは対面形式、ハイブリッド形式による実施(予定)

発表・表彰：9月26日（日）　第35回リハ工学カンファレンス in 北九州プログラム内

展示・広報(予定)：　2021年8月25日(水)～27日(金)　バリアフリー2021

2021年9月25日(土)～26日(日)　第35回リハ工学カンファレンス in 北九州

(表彰式／受賞作品の紹介)

2）福祉機器コンテスト2022

特別協賛：(予定) フランスベッド株式会社

協　賛：(予定) 株式会社有薗製作所、株式会社ケープ

後　援：(予定) 厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会

福祉機器コンテスト2022事務局（2022年3月1日～）

選考委員会の設置（2022年4月1日～）

募集対象：機器開発部門、学生部門

広報開始・応募要綱配布：4月中旬

募集期間：機器開発部門　5月～6月、学生部門　5月～7月

展示・広報（予定）：バリアフリー2022（大阪）展示会（広報）　4月

3）コンテスト発展のための取り組み

・コンテストの企画内容及び運営方法を見直す

１－３．協会誌関連（協会誌担当理事）

1）協会誌編集

・年４回、協会誌の発行に合わせて必要に応じ会場の確保を行い、編集委員会を開催する

・コロナ禍でのオンライン開催は定着したが、会場利用での対面開催のメリットも大きいため、年2回の会場開催を行う

・協会誌編集発行業務の電子化・効率化を継続して進める

・お知らせ記事掲載内容の見直しをはかる

・報告記事の減少を補うべく、また協会よりの情報発信を充実すべく、災害対策委員会など協会活動と連携し、連載「新型コロナウイルスへの対応」、「災害対策とリハ工学」等の充実をはかる

2）協会誌発行

以下の協会誌を発行予定

・Vol.36 No.3　2021/08　特集「ケア現場の組織づくりのための労働安全衛生～ノーリフティングケアの取り組み～（仮）」

・Vol.36 No.4　2021/11「すべての人が気持ちよい排泄を　ー用具がつなぐ排泄ケアー（仮）」

・Vol.37 No.1　2022/2「褥瘡関連（仮）」

・Vol.37 No.2　2022/5「未定」

3）投稿論文（査読依頼）

・早期に査読委員会を設立し、新たに査読委員会内規のもと、投稿論文の査読者の確保と依頼、迅速な査読、査読依頼と結果通知の電子化を行う

4）協会誌の段階的電子化

・協会誌電子化作業のうち、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）登載を株式会社ジェイピーシーに継続委託する

・急速なオープンアクセス化が進む最近の学術誌動向を鑑み、協会誌の情報公開のあり方について、継続的検討を進める

１－４．分科会・支部（分科会（支部・専門委員会）担当理事）

1）支部への活動支援

2020 年度はさらなる支部活動への支援を積極的に行い継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金の配分を行ってきた。2021 年度も引き続き活性化のための情報発信の簡便化や効率化などについて検討していく。また、活性化に向けて連続セミナーを企画するなど地域性を活かしながら活動を活性化させていく予定である。

2）活動計画（期間：2021 年 7 月～2022 年 6 月）

・各支部セミナー等を企画し、積極的に展示会に参加するなど活動を計画している。詳細は、各支部活動計画及び役員体制（案）等として別紙に示す。

１－５．分科会・SIG（分科会（SIG）担当理事）

1）SIG 活動支援

・現在設立されている 10 SIG は、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数 SIG 間で協同の事業を行っているなど 10 グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーである。これまでも当法人が企画・参画・運営する事業（講習会やコンテスト、協会誌の査読、リハ工学カンファレンスなど）実施に際して法人内 SIG・協力 SIG と協働しており、2021 年度以降も同様に協働しながら当法人の活動を活性化していく

・SIG の活動を支援するために 2018 年度より協会誌やホームページ（以下、HP）への情報掲載の運用について整理を行った。情報発信は重要であるとの認識から、今後も各 SIG と情報交換しながら情報発信を進めていく

・現在、法人外SIG（協力SIG）とは2016年度に基本協力関係の覚書を締結し、協力関係を明確にしたが、各法人外SIGの活動が拡大する中で対外的に協会との関係性を整理する必要が出てきている。そこで2018年度のSIG代表者会議を受けて、全SIGが法人内SIGとなるように各種条件の整理を行い、

法人外SIGが法人内SIGへ2021年度中の移行完了をするため、代表者会議など話し合いの場を通して確認を行いながら、順次覚書などの事務手続きを進めていく

2）SIGの位置づけ検討委員会支援

・協力SIGを法人内SIGへと移行するための方策の検討と諸規定の整備などを行う

・オンライン（Chatworkや Zoomなど）を通じた委員会の開催と、必要に応じて委員会の対面開催やSIGとの打ち合わせを行う

設置期間：当初、2019年10月1日～2021年10月30日であったが、1年期間を延長し、2022年10月30日までとする

2021年度活動計画　期間：2021年7月～2022年6月　※SIG会員数（協会員数）は2021年6月1日現在

SIG 姿勢保持　http://www.resja.or.jp/posi-sig/　会員数：119名（30名） 代表者：繁成剛(長野大学)　事務局長：児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・講習会：開催予定（日程未定）　会場：山西福祉記念会館（予定） ・役員会の開催：開催予定　日程：2021年12月末　オンライン会議（予定） ・書籍（小児から高齢者までの姿勢保持・第2版）や資料集PDF版の販売 ・WEBサイト運営、会員専用MLへの情報発信、リハ工学協会事業への協力
車いすSIG　https://www.resja.or.jp/wc-sig/　会員数：86名（50名） 代表者：沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)　事務局長：深野栄子 ・2021年11月のオンライン講習会開催を計画中 ・車いすSIG講習会50回開催記念大会：2022年　5月頃　場所は未定 ・役員会の開催、WEBサイト運営、テキスト発行、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援、 協会事業への協力　他
自助具SIG　会員数：9名（9名） 代表者：岡田英志（ヒューマン）　事務局長：岡田英志（ヒューマン） ・リハ工学カンファレンスin北九州で「３Dプリンターを活用して製作する自助具情報の在り方に関する研究」発表 ・Facebookを利用した情報発信
乗り物SIG　http://ameblo.jp/sunrisejp007/　会員数：5名（5名） 代表者：麩澤孝（有限会社セカンドステージ）　事務局長：片石　任(株式会社フロンティア) ・SIGブログの更新、充実、情報提供・発信 ・分科会(BOG)活動、協会事業への協力
SIG 褥そう防止装置　http://www.resja.or.jp/sig-pmps/　会員数：20名（20名） 代表者：新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所) 事務局長：河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター) ・HPの更新、褥瘡学会との連携（委員派遣・セミナーの後援） ・COVID-19対応指針作成・遠隔支援・役員会合・オンラインセミナーの開催・会員募集
コミュニケーションSIG　http://www.resja.or.jp/com-sig/　会員数：67名（20名） 代表者：渡辺崇史（日本福祉大学）　事務局長：上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・SIG構成メンバー内の勉強会開催（時期未定）
SIG 住まいづくり　http://www.resja.or.jp/sumai-sig/　会員数：30名（20名） 代表者：橋本美芽（東京都立大学）　事務局長：鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・協会事業への協力 ・Webサイトリニューアル検討　・SIG組織構成の見直し
特別支援教育SIG　会員数：5名（5名） 代表者：松田靖史（川村義肢株式会社）　事務局長：高原光恵(鳴門教育大学) ・リハ工学協会事業への協力 ・特別支援関連情報（身近な教材・活用例）の収集、情報提供
移乗機器SIG http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html 会員数：123名(18名) 代表者：古田恒輔（神戸学院大学）　事務局長：青木久美子（宇部記念病院訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ） ・継続的なオンライン講習会の検討 ・ニュース発行　・役員会の開催（6回）
義肢装具SIG　http://www.resja.or.jp/po-sig/　会員数：91名（26名） 代表者：笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院）　事務局長：砂野義信 ・講習会開催：開催未定 ・Webサイト運営

１－６．災害対策事業(新規事業)

１）災害対策リハ工学セミナーの開催

昨年度に続き、本年度も開催を検討する。運営は災害対策員会を中心に各 SIG や支部の協力を仰ぎながら企画し、リハ工学の啓発、技術伝承及び、災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容から検討する。

・対象者：専門職向けやリハ工学に興味のある方等
・オンライン開催なども視野に、コロナ禍の状況を見ながら実施を検討する
・コロナ禍の状況が改善しない場合は、実施しない場合もある

２）災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応

2021 年度から常設化されたため、活動を継続して行うとともに、常設の事業委員会としての機能・活動の円滑化等のために体制を整える。あわせて、昨年度に引き続き、他団体との協力体制構築及び被災地調査などを実施する。これらの活動に際しては企業から災害対策活動協賛金を募ることを検討するなど活動の本格化に向け準備を行う。

2021 年度の主な活動は以下の通り

・災害対策リハ工学セミナー等の企画・実施
・障害を持つ人の防災マニュアル（仮称）の作成準備
・一般社団法人日本福祉用具生活支援用具協会（JASPA）の災害復興車椅子メンテナンス事業に参加
・一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）活動への参加
・JRAT・一般社団法人日本車椅子シーティング協会（JAWS）・JASPA・一般社団法人日本福祉用具供給協会などの連携の窓口
・協会誌上連載「災害対策とリハ工学」への協力
・その他、災害対策委員会が独自に必要と認めたこと

１－７．企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動及び会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

１）学会展示会、広報活動強化

以下の展示会等へブース出展し、広報活動を実施する。その際には各地域の支部で運営するように体制整備を併せて行っていく。

・バリアフリー2021（2021 年 8 月　於：インテックス大阪（大阪））
・バリアフリー2022（2022 年 4 月　於：インテックス大阪（大阪））
・その他各地域で行われている福祉機器展や関連学会についても、可能な範囲で出展を行い協会の広報等を行う。各地域支部や SIG との協力を積極的に進めると同時に、可能な限りセミナー実施とセットで行う

２）セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。この企画・運営についても支部を中心に実施できるよう体制整備を行う。

・バリアフリー2022（大阪）での出展社ワークショップを企画・開催
・その他の地域で開催される福祉機器展においても、支部・SIG 等と協力してセミナーの開催を検討する

3）頸損解体新書2020発行と最終報告会の実施

・全国頸髄損傷者連絡会と共同により、頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査を実施、本調査の結果を、2020年度に頸損解体新書2020として発行した。2021年度には、本調査の結果の周知を目的に、会員への発送及び、最終報告会を実施する

4）合同シンポジウムの開催

・2021年度については、開催地域は未定だが、単独事業での実施だけでなく、カンファレンスや支部活動などの協会事業との連動や他団体も含めて検討する

5）新たな会員獲得及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進

・研修企画委員会を中心に、新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的に、講習会・物販等の新たな企画推進事業の検討を行う

・実現可能性の高いと思われる事業について、試行的に実施する

対象者：専門職やリハ工学に興味のある方等

開催候補地：未定（オンラインイベントを含め検討）

6）情報保障の拡充

障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要性がある。当協会においても、主催セミナーやシンポジウム、支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するための体制づくりを継続して行う。

１－８．国際関連事業（国際担当理事）

1）国際関連団体との相互協定に基づく交流

・リハ工学カンファレンスへの各国代表参加者のビデオメッセージによる参加

・アジアリハ工学連携会議 （i-CREATe）が2021年12月に開催されることが決定したため、RESJA代表者（１名）へ必要に応じて費用負担

・GAATO（Global Alliance of Assistive Technology Organization）への参加と連携

・GAATOの”A Grand Challenges in AT Outcome（支援機器の利用効果に関するワークショップ）”において、西太平洋地域でのコンサルテーション事業（専門家による協議会）に参加する。RESJAとして日本においての支援機器の利用効果の課題の抽出および検討のために国内の専門家20名に依頼し、2021年8月4日、11日に予定されている西太平洋地域オンライン会議に参加する

2）国際連携推進委員会の開催

・理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、オンラインにて年に２回程度の委員会開催を予定

２．総務

２－１．規則・選挙（規則・選挙担当理事）

1）2021年度役員候補者選挙

2021年度役員候補者選挙を実施する（前年度より継続中）。

2）規程の整備

各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う。

２－２． 財務（財務担当理事）

1）法人会計の管理

・2021 年度決算の実施
・2022 年度予算案の提案
・四半期決算の実施

2）分科会・支部の連結決算の準備
・会計システムの再構築
・会計システムの統合

２－３．　総会･理事会

1）2021 年度理事会の開催
・年 5 回、定例の理事会を開催する
・時期は 2021 年 7 月、10 月、12 月、2022 年 3 月、6 月とする
・オンライン会議を基本とするが、必要に応じて対面開催とする

2）2021 年度定時社員総会の開催
・2021 年 8 月に定時社員総会を開催する
・会場は、関西地区を中心に検討する

２－４．広報・渉外

1）協会リーフレット印刷
・協会案内用リーフレット印刷

2）WEB 会議システム利用
・WEB 会議システム（Zoom）を活用し、効率的で経費負担の少ない事業運営を目指す

3）Web 管理委員会の運営
・協会 HP を維持・管理し、適切に更新していく
・新たなオンラインストレージを運用し、無料 DropBox の利用を終了する
・協会公式 SNS 活用を促進する

２－５．事務局（事務局担当理事）

1）事務局運営
・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める

2）展示会出展における広報活動

３．後援・協賛事業

・後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記の通りである

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2021年9月10日～12日 （現地開催） 2021年9月13日～10月13日 （WEB開催（オンデマンド配信））	第55回日本作業療法学会
2	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2021年9月15日～17日 （オンライン開催）	ヒューマンインタフェースシンポジウム2021
3	後援	一般社団法人日本機械学会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2021年9月16日～18日	ＬＩＦＥ２０２０－２０２１
4	協賛	バイオメカニズム学会	2021年11月27日～28日	第42回バイオメカニズム学術講演会
5	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2021年12月15日～17日 （オンライン開催）	第22回SICEシステムインテグレーション部門講演会

【別紙】

◆支部の 2021 年度事業計画◆

◇東日本支部

１．概要

昨年度に引き続き今年度も、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。東日本支部は、広域であり、会議・セミナー・勉強会などについては、Web 会議システムなどを活用したいと考えている。東日本大震災などの災害の経験を活かして、地域 JRAT と支部の協力体制を構築していきたい。

連絡先：higashinihon@resja.or.jp

◇関東・甲信越支部

１．概要

コロナ禍の関東・甲信越支部活動として、Web 会議システム等を用いたオンラインでの会議・セミナー・勉強会などの活用を考えていく。

２．主要事業

⑴ 災害対策キャンプの企画・運営：2021 年秋または 2022 年春予定

場　所：未定

内　容：災害時、避難先での寝泊まりを想定した機器の利用検証支部セミナーの開催（年間１回程度）

３．その他

⑴ 支部役員会の開催

日時：未定

場所：未定

内容：支部活動全般について、連続セミナーについて、その他

４．2021 年度支部役員体制

代表：　沖川悦三（神奈川県総合リハビリテーションセンター：継続）

幹事：　水澤二郎（一般財団法人啓成会：継続）

深野栄子（日本リハビリテーション工学協会：継続）

麩澤孝（(有)セカンドステージ：継続）

植田瑞昌（国立研究機関：継続）

片石任（株式会社フロンティア　福祉本部：継続）

河合俊宏（埼玉県総合リハビリテーションセンター：継続）

白鳥智子（山梨県立あけぼの医療福祉センター：継続）

鈴木明子（野のすみれクリニック　リハビリテーション科：継続）

岡野善記（株式会社７６６：継続）

石濱裕規（医療法人社団永生会：継続）

森田千晶（神奈川県立保健福祉大学：継続）

事務局：神奈川リハビリテーション病院研究部内　村田知之

連絡先：kkse@resja@or.jp

◇中部支部

１．概要

年間１回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動との共催

および後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

２．主要事業

⑴ 支部セミナー

開催日：2022 年１月（実施日未定）

場　所：オンライン開催(金沢福祉用具情報プラザ(金沢市)より)

テーマ：福祉用具コレクションイベント内での福祉用具関連セミナー

講　師： 中部支部会員

３．他学会等の事業への後援・協賛・協力

⑴ デジタルものづくりワークショップ

主催：なごや福祉用具プラザ、日本福祉大学福祉テクノロジーセンター

開催日：2021 年８月 14 日（土）

場所：なごや福祉用具プラザ(名古屋市)

４．その他

⑴ 支部役員会の開催(随時開催予定)

場　所：基本的にオンラインにて実施する

５．2021 年度支部役員体制

代表：渡辺崇史（日本福祉大学：継続）

幹事：北野義明（石川県リハビリテーションセンター：継続）

安田秀一（金沢市社会福祉協議会：継続）

長束晶夫（なごや福祉用具プラザ：継続）

事務局：日本福祉大学(渡辺)

連絡先：wata-t@n-fukushi.ac.jp （渡辺）

◇関西支部

１．概要

年間１回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図るが、COVID-19 拡大の影響を注視しながら、オンラインセミナーなど実施可能な方法を検討する。

２．主要事業

⑴ 支部セミナーの開催（年間１回程度）

●2021 年度関西支部セミナー

開催日：未定（土日祝日の 10:00～16:00）

場所：神戸芸術工科大学梅田サテライトキャンパス

(COVID-19 の影響でオンライン開催となる可能性あり)

テーマ： サービスや福祉機器利用の地域差について考える（仮）

講師： 関西地域の 3～4 名の当事者を予定

⑵ バリアフリー2021 運営および出展社セミナーの開催

※詳細は未定

開催日：2021 年８月 25 日（水）～27 日（金）

場所：インテックス大阪・ハイブリッド開催

⑶ バリアフリー2022 運営および出展社セミナーの開催

※詳細は未定

開催日：2022 年 4 月（未定）

場所：インテックス大阪

3．他学会等の事業への後援・協賛・協力

今のところ予定なし

4．その他

(1) 支部役員会の開催

日時：未定

場所：大阪、神戸、およびオンライン会議も検討

内容：2021 年度の事業報告・決算報告、2022 年度の事業計画案・収支予算案について支部セミナー等の企画検討など

5．2021 年度支部役員体制

支 部 長：　相良二朗（神戸芸術工科大学：継続）

副支部長：　金井謙介（the Light on Design Project：継続）

島本　卓（兵庫頸髄損傷者連絡会：継続）

幹　　事：　赤澤康史（兵庫県立福祉のまちづくり研究所：継続）

川村　慶（川村義肢株式会社：継続）

剣持　悟（川村義肢株式会社：継続）

杉本昌子（パシフィックサプライ株式会社：継続）

中村俊哉（兵庫県立福祉のまちづくり研究所：継続）

松田靖史（川村義肢株式会社：継続）

宮野秀樹（非営利活動法人ぽしぶる：継続）

事務局長：　糟谷佐紀（神戸学院大学：継続）

連絡先：〒651-2180　神戸市西区伊川谷町有瀬 518　神戸学院大学総合リハ学部糟谷研究室

078-974-1920（tel/fax）、kansai@resja.or.jp

◇中国・四国支部

1．概要

支部会議を定期的に実施する。年間 1 回程度支部セミナーを主催する。中国・四国支部のテーマを「介護人材不足に対するノーリフティングケアの普及」とし、特に当事者の意識を変えるための活動を実施する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学及び福祉機器に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2．主要事業

(1) 支部セミナーの開催（年間 1 回程度）

●第 1 回中国・四国支部セミナー

開催日：2021 年 11 月 19 日、20 日

場所：高知県ぢば産センター「in 高知ふくし総合フェア」

テーマ：　「当事者こそが変える！人手不足の介護現場」

講師：　中国・四国支部コアメンバーが中心となり実施予定

●第 2 回中国・四国支部セミナー

開催日：2022 年 1 月～3 月

場所：オンライン開催を予定

テーマ：「当事者こそが変える！人手不足の介護現場」

講師：中国・四国支部コアメンバーが中心となり実施予定

3．他学会等の事業への後援・協賛・協力

高知ふくし総合フェアへの後援

4．その他

(1) 支部役員会の開催

日　時：第1回2021年 8月10日（火）　19:00～20:30
第2回2021年10月12日（火）　〃
第3回2021年12月14日（火）　〃
第4回2022年 2月 8日（火）　〃

場　所：オンラインにて実施

内　容：第1回2020年度の事業報告・決算報告、2021年度の事業計画案・収支予算案について、その他
第2回11月セミナーについて・中国・四国の取り組み発信について
第3回・第4回　オンラインセミナーについて　中国・四国の取り組み発信について、2021年度の事業報告・決算報告、2022年度の事業計画案・収支予算案についてその他

5．2021年度支部役員体制

代表：下元佳子（一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク：継続）

幹事：鈴木太（愛媛頸髄損傷者連絡会：継続）
谷口公友（広島国際大学：継続）

事務局：下元佳子・福島寿道（一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク）

連絡先：高知県高知市本町3-6-37　tel：088-821-7756　mail：nhn@nhcn.jp

◇九州支部

1．概要

年間1回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学及び福祉機器に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2．主要事業

(1) 支部交流会の開催

●九州支部オフラインミーティング

開催日：2021年11月20日　10:00～17:00（予定）

場　所：西日本総合展示場　新館　（北九州市小倉北区浅野3-8-1）

※第23回西日本国際福祉機器展において、展示ブースを巡りながら出展社および来場者（リハ工学協会会員も含む）とディスカッションする

●九州支部オンラインツアー

開催日：未定

場　所：https://whereby.com/リハ工学協会九州支部

参加者：オンラインサービスの仕様上、100名まで

テーマ：仮題「福祉機器メーカーのWEBサイトを巡る旅へ！」

ホスト：小林博光（総合せき損センター）

※福祉機器メーカーのサイトや動画配信サイトを皆で閲覧しながら意見交換する

3．他学会等の事業への後援・協賛・協力

(1) 第35回リハ工学カンファレンスin北九州への協力

(2) その他、依頼があれば検討

4．その他

(1) 支部役員会の開催

主としてメーリングリストで意見交換を行う。適宜、オンライン会議を開催する。

5．2021年度支部役員体制

代表：小林博光（総合せき損センター：継続）

幹事：江原喜人（総合せき損センター：継続）、中村詩子（北九州市立総合療育センター：継続）、
山形茂生（コネクトリハビリテーション：継続）

連絡先：koy@resja.or.jp

【資料５】

第４号議案 2021 年度収支予算計画（案）

２０２１年度　予算案

収入

単位：円

コード	勘定科目	2020年度	2021年度	前年比
	＜入会金収入＞	50,000	50,000	0
1411	入会金(今年度分)	50,000	50,000	0
1412	入会金(前納分)	0	0	0
	＜会費収入＞	8,200,000	7,900,000	△ 300,000
416	一般会費(今年度分)	6,000,000	5,800,000	△ 200,000
1416	一般会費(前納分)	1,200,000	1,100,000	△ 100,000
1417	一般会費(下半期分)	100,000	100,000	0
1419	一般会費(過年度分)	100,000	100,000	0
1420	学生会費(今年度分)	80,000	80,000	0
1422	学生会費(下半期分)	20,000	20,000	0
1423	賛助会費(今年度分)	100,000	100,000	0
1424	賛助会費(前納分)	600,000	600,000	0
	＜事業収入＞	2,152,000	2,152,000	0
421	書籍頒布	100,000	200,000	100,000
422	協会誌広告収入	160,000	160,000	0
423	協会誌掲載料	130,000	130,000	0
1430	購読ｻｰﾋﾞｽ会費今年度	110,000	110,000	0
1431	購読ｻｰﾋﾞｽ会費(前納分)	52,000	52,000	0
―	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ関係収入	0	0	0
428	ｾﾐﾅｰ収入	500,000	400,000	△ 100,000
426	事業費雑収入	500,000	500,000	0
429	その他の協賛金	600,000	600,000	0
	＜雑収入＞	5,000	5,000	0
471	受取利息471	5,000	5,000	0
472	雑収入472	0	0	0
	【合計】	10,407,000	10,107,000	△ 300,000

部門別支出

No.	部門名	所属組織	2020年度予算	2021年度予算	前年比削減額
1	理事	理事会	2,000,000	1,330,000	670,000
10	事務・管理	総務系	1,660,000	1,858,786	△ 198,786
15	組織管理	総務系	160,000	270,000	△ 110,000
20	広報	総務系	75,000	100,000	△ 25,000
25	国際関連	事業系	460,000	205,000	255,000
30	企画推進	事業系	818,000	730,000	88,000
35	専門委員	事業系	250,000	560,000	△ 310,000
40	SIG	事業系	300,000	550,000	△ 250,000
50	支部	事業系	300,000	300,000	0
60	事業管理	事業系	630,000	765,000	△ 135,000
70	カンファ・コンテ	事業系	105,000	247,500	△ 142,500
80	協会誌	事業系	3,170,000	3,160,000	10,000
85	受託事業	事業系	0	0	0
90	予備・その他	その他	100,000	0	100,000
※	カンファ・コンテ コロナ特別対応	事業系	300,000	0	300,000
総合計			10,328,000	10,076,286	251,714
			2021予算収支		30,714

【資料６】

第５号議案 新役員の承認について

定款第 34 条により、新役員の承認の審議を行う。
役員候補者選挙により、選出された候補者は以下の通りである（50 音順）。

＜理事候補＞

・ 伊佐 拓哲	ジェイワークアウト株式会社
・ 石濱 裕規	医療法人社団永生会
・ 植田 瑞昌	国立研究機関
・ 江原 喜人	総合せき損センター
・ 岡野 善記	株式会社７６６
・ 桂　律也	社会医療法人社団三草会クラーク病院
・ 河合 俊宏	埼玉県総合リハビリテーションセンター
・ 杉本 昌子	パシフィックサプライ株式会社
・ 鈴木　太	愛媛頸髄損傷者連絡会
・ 中村 詩子	北九州市立総合療育センター
・ 中村 俊哉	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
・ 早川 康之	北海道科学大学
・ 村田 知之	神奈川県総合リハビリテーションセンター
・ 森田 千晶	神奈川県立保健福祉大学
・ 山田 賀久	日進医療器株式会社

＜監事候補＞

・ 赤澤 康史	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
・ 伊藤 和幸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所

＜会計監査人＞

定款第33条　第2項により、会計監査人は設置していないため候補者はなし。

――――以下、役員選出に関連する規則の抜粋である（2017年8月1日現在）――――――――――

【定款】

第 34 条　理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。

（補足）

（役員の設置等）

第 33 条　当法人に、次の役員を置く。

（１）理事11 名以上15 名以内

（２）監事2 名

２　当法人に、会計監査人を1 名おくことができる。

３　理事のうち、１名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、１名を副会長とすることができる。

４　理事のうち、若干名を業務執行理事とする。